



福島 隆史（ふくしま・たかし）

公認会計士。(株)サステナビリティ会計事務所／サスティービー・コミュニケーションズ(株)代表取締役としてコンサル／レポート制作／保証を行なう。著書「CSRエピソード」幻冬舎 2017年。

# CSR調達アンケートが 我が社にもやってくる

SDGsは決して大企業だけの取り組みではありません。なぜならサプライチェーン全体に持続可能な社会の実現に資する取組みや行動を促すことが、今や大企業にとって責務であると認識されつつあるからです。では、実際にどのような形で中小の企業に取組みを促しているかといえば、現時点での代表格といえるのがCSR調達アンケートでのやり取りとなります。

CSR調達アンケートとは、「人権方針をもつていますか?」とか、「CO<sub>2</sub>削減目標を設定していますか?」という多数の質問項目で構成されるアンケートです。その回答を要請してくるとともに後日、取引先全体における自社の相対位置などがファイードバックされてきて活動の励みにしていくというものです。

そんなCSR調達アンケートを、これまでに見たことがないと思われる経営の方々が多いと思います。でも、皆さまの会社において、既に営業所などでは受け取っている可能性すらあるほどに、日本ビジネス市場でも浸透してきている取組みです。一番よくなるのは、営業所などでそれを受け取っているのに、担当者の机の引き出しにそっとしまわれ

SDGsは決して大企業だけの取り組みではありません。なぜならサプライチェーン全体に持続可能な社会の実現に資する取組みや行動を促すことが、今や大企業にとって責務であると認識されつつあるからです。では、実際にどのような形で中小の企業に取組みを促しているかといえば、現時点での代表格といえるのがCSR調達アンケートでのやり取りとなります。

SDGsは決して大企業だけの取り組みではありません。なぜならサプライチェーン全体に持続可能な社会の実現に資する取組みや行動を促すことが、今や大企業にとって責務であると認識されつつあるからです。では、実際にどのような形で中小の企業に取組みを促しているかといえば、現時点での代表格といえるのがCSR調達アンケートでのやり取りとなります。

SDGsは決して大企業だけの取り組みではありません。なぜならサプライチェーン全体に持続可能な社会の実現に資する取組みや行動を促すことが、今や大企業にとって責務であると認識されつつあるからです。では、実際にどのような形で中小の企業に取組みを促しているかといえば、現時点での代表格といえるのがCSR調達アンケートでのやり取りとなります。

SDGsは決して大企業だけの取り組みではありません。なぜならサプライチェーン全体に持続可能な社会の実現に資する取組みや行動を促すことが、今や大企業にとって責務であると認識されつつあるからです。では、実際にどのような形で中小の企業に取組みを促しているかといえば、現時点での代表格といえるのがCSR調達アンケートでのやり取りとなります。

SDGsは決して大企業だけの取り組みではありません。なぜならサプライチェーン全体に持続可能な社会の実現に資する取組みや行動を促すことが、今や大企業にとって責務であると認識されつつあるからです。では、実際にどのような形で中小の企業に取組みを促しているかといえば、現時点での代表格といえるのがCSR調達アンケートでのやり取りとなります。

## SDGs

### Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

2015年国連が採択した持続可能な開発のための  
2030年アジェンダ

